

令和元年度 山形県病院事業会計決算の概要 【経常収支は4億4,400万円の赤字】

令和2年7月
病院事業局

1 病院事業合計

(1) 入院及び外来の概況

		令和元年度	
			前年比
入院収益	a	21,614	▲88
入院患者延数	b	399,042人	▲14,102人
入院診療単価	a/b	54,165円	1,635円
平均在院日数		14.8日	▲0.6日
病床利用率		82.0%	▲1.9p
外来収益	c	9,019	402
外来患者延数	d	570,365人	▲19,590人
外来診療単価	c/d	15,813円	1,206円

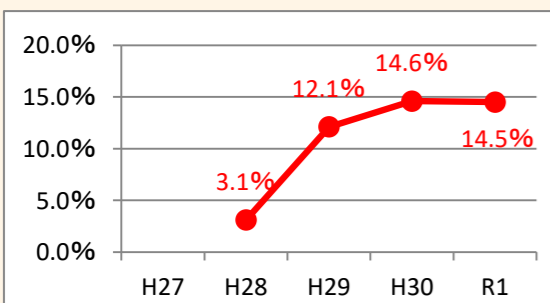
(2) 損益の概況

		令和元年度	
			前年比
総収益	A	40,090	1,884
経常収益	C	39,712	2,001
医業収益	E	31,489	263
医業外収益		8,223	1,738
特別利益		378	▲117
総費用	B	40,199	1,505
経常費用	D	40,156	1,519
医業費用	F	38,389	1,356
医業外費用		1,767	163
特別損失		43	▲14
医業収支	E-F	▲6,900	▲1,093
総収支	A-B	▲109	379
経常収支	C-D	▲444	482

(参考①) 資金不足比率の推移

病院事業会計は、平成28年度から資金不足が生じ、平成29年度には資金不足比率が10%を超えたため、「資金不足等解消計画」を策定し、経営改善に取り組んでいる。

令和元年度の資金不足比率は14.5%となった。



(参考②) 現金預金の残高と一時借入金の推移

平成27年度から年度末に現金預金の残高が不足するため、市中金融機関から一時借入をしている。

		令和元年度				
		H27	H28	H29	H30	R1
現金預金		351	379	379	443	441
一時借入金		2,000	4,000	5,200	3,500	5,600

2 中央病院 【経常収支は4億5,600万円の黒字】

(1) 中央病院の概要 (R2. 4. 1現在)

山形県の高度・救急医療の拠点
○職員数：1,276人 ※ 非常勤を含む
○診療科：34科
○病床数：594床

(2) 入院及び外来の概況

		令和元年度	
			前年比
入院収益	a	13,693	388
入院患者延数	b	185,235人	516人
入院診療単価	a/b	73,921円	1,891円
平均在院日数		10.6日	▲0.3日
病床利用率		85.2%	0.0p
外来収益	c	5,555	490
外来患者延数	d	271,610人	4,749人
外来診療単価	c/d	20,456円	1,474円

(4) 令和元年度の主な設備投資 (単位:百万円)

○患者サポートセンター整備等(36)
※ R2へ繰越(22)
○空調用冷熱源設備更新(57)
○医療機器等の整備(327)
(パノラマX線撮影装置更新(18)、
大動脈内バルーンポンプ更新(26)等)

(3) 損益の概況

		令和元年度	
			前年比
総収益	A	24,650	1,694
総費用	B	23,855	1,610
総収支	A-B	795	84
経常収支		456	181

《主な増減要因》

【収益】○手術件数の増加等による入院収益の増〔+388〕
○外来診療単価の上昇等による外来収益の増〔+490〕
○一般会計繰入金の増〔+789〕

【費用】○職員数及び退職給付費の増加等による給与費の増〔+744〕
○高額薬品の使用の増加等による材料費の増〔+574〕
○電子カルテ等の更新による減価償却費の増〔+326〕

4 河北病院 【経常収支は7億7,600万円の赤字】

(1) 河北病院の概要 (R2. 4. 1現在)

西村山地域の医療を支える基幹病院
○職員数：293人 ※ 非常勤を含む
○診療科：15科
○病床数：136床

(2) 入院及び外来の概況

		令和元年度	
			前年比
入院収益	a	1,350	▲417
入院患者延数	b	34,207人	▲10,973人
入院診療単価	a/b	39,471円	363円
平均在院日数		16.0日	▲1.7日
病床利用率		59.9%	▲19.4p
外来収益	c	935	▲190
外来患者延数	d	83,487人	▲20,382人
外来診療単価	c/d	11,197円	369円

(4) 令和元年度の主な設備投資 (単位:百万円)

○医療機器等の整備(16)
(除細動器更新(2)、
冷却遠心機更新(1)等)

(3) 損益の概況

		令和元年度	
			前年比
総収益	A	3,376	▲327
総費用	B	4,150	▲341
総収支	A-B	▲774	14
経常収支		▲776	11

《主な増減要因》

【収益】○常勤医師数の減少等による入院外来収益の減〔▲607〕
○一般会計繰入金の増〔+277〕

【費用】○職員数の減少等による給与費の減〔▲245〕
○患者数の減少等による材料費の減〔▲84〕

3 新庄病院 【経常収支は6,600万円の赤字】

(1) 新庄病院の概要 (R2. 4. 1現在)

最上地域唯一の基幹病院
○職員数：587人 ※ 非常勤を含む
○診療科：19科
○病床数：343床

(2) 入院及び外来の概況

		令和元年度	
			前年比
入院収益	a	4,887	▲37
入院患者延数	b	108,198人	▲3,021人
入院診療単価	a/b	45,172円	897円
平均在院日数		15.0日	▲0.6日
病床利用率		80.5%	1.6p
外来収益	c	2,216	95
外来患者延数	d	181,402人	▲4,041人
外来診療単価	c/d	12,217円	779円

(4) 令和元年度の主な設備投資 (単位:百万円)

○総合医療情報システム更新(705)
○改築整備事業(基本・実施設計(59)、
造成及び外構設計(29)等)
○医療機器等の整備(96)
(眼科手術用顕微鏡更新(31)、
心臓超音波診断装置更新(17)等)

(3) 損益の概況

		令和元年度	
			前年比
総収益	A	8,717	272
総費用	B	8,792	217
総収支	A-B	▲75	55
経常収支		▲66	67

《主な増減要因》

【収益】○平均在院日数の短縮等による入院収益の減〔▲37〕
○外来診療単価の上昇等による外来収益の増〔+95〕
○一般会計繰入金の増〔+282〕

【費用】○退職給付費の増加等による給与費の増〔+152〕
○高額薬品の使用の増加等による材料費の増〔+79〕

5 こころの医療センター 【経常収支は100万円の黒字】

(1) こころの医療センターの概要 (R2. 4. 1現在)

本県の精神医療の中核センター
○職員数：241人 ※ 非常勤を含む
○診療科：3科
○病床数：213床

(2) 入院及び外来の概況

		令和元年度	
			前年比
入院収益	a	1,684	▲22
入院患者延数	b	71,402人	▲624人
入院診療単価	a/b	23,578円	▲112円
平均在院日数		130.9日	13.5日
病床利用率		91.6%	▲1.0p
外来収益	c	313	7
外来患者延数	d	33,866人	84人
外来診療単価	c/d	9,226円	162円

(4) 令和元年度の主な設備投資 (単位:百万円)

○医療機器等の整備(4)
(電動ベッド更新(2)等)

(3) 損益の概況

		令和元年度	
			前年比
総収益	A	3,109	39
総費用	B	3,105	11
総収支	A-B	4	28
経常収支		1	25

《主な増減要因》

【収益】○急性期の患者数の減少等による入院収益の減〔▲22〕
○外来診療単価の上昇等による外来収益の増〔+7〕
○一般会計繰入金の増〔+54〕

【費用】○高額薬品の使用の増加等による材料費の増〔+13〕